

## 令和6年(2024年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：長野県白馬村

協定締結日：平成17年3月29日

活動状況：継続中

連携先窓口：総務課企画調査係

活動資金：研究室予算

担当教員(所属)：造園科学科 福岡孝則

活動体制(単位)：研究室

関連教員(所属)：造園科学科 國井洋一、阿部伸太

活動目的：地域活性化、地域デザイン、景観評価

活動内容・成果：令和6年度は大学院の活動を中心に、主に修士研究(白馬村の景観評価)の一環として白馬村での調査・情報意見交換等を実施した。加えて、白馬村からも共同で取り組める課題・活動について具体的な対象域の提示があり、次年度に向けて現地フィールドワーク等を実施した。

課題・改善点：白馬村自体はインバウンド観光等の影響で土地の値段が急上昇し、村の自然・地域自然の戦略的な保全や景観計画の策定が急務である。研究室では今後、村と連携しながら白馬村のもつ自然・地域資源の可視化(地図化)を主軸に基礎的なデータをつくっていく。活動に関しては大学院主体で取り組んでいく予定である

基礎的なデータをつくっていく。活動に関しては大学院主体で取り組んでいく。



白馬村村長を表敬訪問（上）、研究の対象としている白馬村の景観（下）